

父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第203号

発行:令和3年1月25日

責任者: 武田 純子

T E L : 078-335-8508

F A X : 078-335-8509

U R L : kobe-jyushin.com

E-mail: hubonokai6530

@iaa.itkeeper.ne.jp

コロナと共存しつつ

神戸市重度心身障害児(者)父母の会
会長 武田 純子

あたらしい年を迎え気持ちもあらたによろしくお祈りします。

会員はじめ関係の方々の上にコロナ禍の影響を被っていないことを祈るばかりです。

新型コロナウイルスの猛威を目の当たりにした今、当会では行事や活動が中止となりました。

しかし、今だからこそ、じっくり会の活動、またこれからの方向性を見直す良い機会となりました。

当会の事業一つひとつにはそれぞれ歴史があります。その行事には先人たちが、その時代に沿った創意工夫を凝らして企画し、それを楽しみに待つ会員がおりました。その中の長寿事業が、49回を迎えた「愛のチャリティバザー」であったり、47年を経過する「ポニー教室」があります。残すものは継続し、見直すものは検討していきたいと考えております。

加えて当会のこれからの担い手となる若い会員、役員を発掘し(?)一緒に活動できるような環境を作りたいと思います。お陰様で今、貴重な担い手が育ちつつあります。

悲願であった医療的ケア児の施策を神戸市も検討中です。このタイミングで「じゅうしんきつず&ゆーす」を生み出したのが若手のお母さん達です。医療的ケア児の介護をしながらの活動ですが、リモートの対策や、新企画、そしてホームページの更新等、コロナ禍ならこそ在宅で出来る知恵を出し合ってくれます。そして先輩会員と若手会員が一丸となってこの時期何が出来るかを一緒になって考えていく良い機会を与えてくれたとも感じます。

コロナ禍の中で私たちの日常生活は一変し、当たり前前の生活がはるか遠くに感じられますが若いパワーはこのような時に、重度の障害児(者)を育てていく「生きる力」を感じさせてくれるエネルギーとなるような気がします。

じゅうしん父母の会が、これから担っていく役割と使命は、今置かれた環境の中で「与えられた立場を精一杯全うする」ことが大事である事を今あらためて実感しているところです。

今やコロナと共存しつつ、じゅうしん父母の会は、「これからの時代に応じた変革」を目指していく機会だと感じております。

皆さまの一層のご協力を切にお願い申し上げます。



じゅうしんきつず&ゆーすと共に

じゅうしんきつず&ゆーすと代表 井関 宏美

自分たちの役割・使命とは・・・

新年を迎え気持ちもあらたに、本年もどうぞよろしくお願い致します

感染者増加のニュースや医療体制ひっ迫のニュースを目にする日々、大変な社会情勢のなかではありますが皆様の健康を祈るばかりです。2020年は新型コロナウイルスの影響により年度当初予定していましたが「じゅうしんきつず&ゆーすと」の催事のなかでリモート開催によるものはなんとか開催する事ができましたが、年度当初よりリモートや現地視察などメンバー内の打合せを何度も重ねて準備をして、いちばん当事者の為に開催したいと思っていた福祉機器用具展もコロナが下火になるかとおもいきや第2波の影響によりやむなく中止となりました。

中止の決定をした際には機器用具展に参加を予定して下さっていた方から自分たちが想像していた以上に楽しみにして下さったという有難いお声をいただき大変嬉しい反面、残念な思いが大きく平時の有難みを感じました 当事者が今知りたい事、欲しいものを保護者の目線で日頃から繋がりのある方へご協力をお願いをしたところ同じ思いの業者の方々より尽力いただき、そのなかでも神戸市では初となる衣料品会社であるUNIQLOとの共催により障害児者向けの肌着を現地販売も実施する予定でした。残念ながら開催はできませんでしたが、その後もUNIQLOの店舗で車いすユーザーや障害児用バギーなどで家族と一緒に買い物しやすい店舗づくりとはどういうものかという事を検討するきっかけになりました。父母の会と一緒に活動させていただき勉強になりましたとUNIQLO店舗の代表の方が仰って下さりました。まさにそれが自分たちの役割で、当事者や当事者家族、支援者の声を広く社会に発信していく事が自分たちに与えられた使命ではないかなと思っています。

新人の私達の為に尽力して下さる先輩会員皆様のお力をお借りしつつこれからも父母の会とともに走り続けたいと思います。

コロナ禍ということで完全リモートで開催。特別ゲストも含めて10名の方が参加してくださいました。コロナ禍での困りごと、不安な思いに特別ゲストの方からアドバイスを頂いたり、貴重な情報もたくさん頂けて、本当に有意義な時間でした。



万全を期してコロナ感染対策に取り組んでまいりましたが、動員総数が200名以上来場されることとなり、コロナウイルス第3波の影響を考慮し開催中止とさせていただきます。Facebookにてご協力企業様のご紹介をさせていただいています。



中止となりました福祉機器用具展でご要望が多かった視線入力イベントをzoomで開催致しました。

12月26日に神戸新聞朝刊にきつず&ゆーすの取り組みが掲載されました。商品開発に取り組んでくださったユニクロさんに御礼の気持ちと少しでも多くの当事者・当事者家族に情報が届きますように！



オンライン開催

しあわせの村「福祉健康フェア」のバザーに出店！

新型コロナウイルス感染拡大で諸々の行事が中止になりましたが11月1日(日)のしあわせの村「福祉健康フェア」のバザーに参加しました。

久しぶりのバザーでしたので、わくわく・ドキドキしました。

9月に倉庫からしあわせの村バザーへ持って行く商品を選びました。

前日の天気予報では、寒くなると言われていましたが、とても暖かく汗ばむ1日でした。

10時にスタートした途端に、たくさんのお客さんが来られ大にぎわいで、スタッフの販売モードにスイッチが入りました。

屋外だったこと、時間制の入場だったこともあり、お客さんが密にならないようにして買い物を楽しんでいただけたのではないかと思います。

社会福祉協議会の対策・対応を参考にし、今後の行事に活かしたいと思います。

来年も開催されると思いますので、皆様のご来場をお待ちしています。

事業部 山内由香



ポニー教室

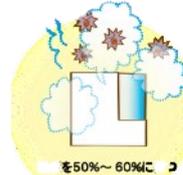
令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大が続きポニー教室を休んでいましたが、会員からの要望もあり、様子を見ながら10月から始めました。

参加者には、タオル・バスタオル・マスクなどを持参してもらい、受付では手の消毒・検温をお願いしています。

この度の緊急事態宣言発令により、ポニー教室はしばらくの間中止いたします。

冬の低温・乾燥に注意しましょう！！

マスクは飛沫による感染を減らすだけでなく、鼻やのどを保温、保湿する効果があると言われています。室内は「適度な湿度」を保ちましょう。40～60%がよいといわれています。ただし「換気」することも忘れずに。





支部

<東灘支部>

自立支援協議会 くらし部会で障害者団体の一つとして、神戸国際大学とリモート交流授業に会員の一人が加わりました。

<灘支部>

12月灘支部は支部の皆さんの情熱でコロナに負けず、クリスマス会を開催。

《クリスマス会楽しかった》子供たちの声。

6人の会員から11人の会員に増えました。若手と先輩会員が仲良く運営していきます。

<中央支部>

こうべ市民福祉交流センターの1階に昨年8月に障害者支援センターと同時に6階には生活介護やショートステイができる障害者施設もオープンしました。支援センターの役割や使い方がよくわかっていなかったなので、すぐに見学を催しました。

中央支部は色々な勉強会もしています。7月は保健所と市役所支援課長を招き新型コロナ感染対策について行い、9月は区役所あんしんすこやか課と2つの障害者支援センターとで新型コロナ対応について、新しくできる施設や中央区役所移転に伴う周辺整備の工事の様子などを聞きました。

毎月 第2(日)10時~12時は「訓練」、第4(日)10時30分~12時は「古武道介護術」2、3ヶ月に1度は音楽療法やリハビリなどを行っています。

今年度は色々中止になりましたがリモートも取り入れてやっています。

<兵庫支部>

前は、「小東野農園」に芋掘りに行きました。西区神出町にある同園まではバスで1時間ほど。料金は一人3株で700円。車椅子で入園可。トイレも車椅子OK。肝心のサツマイモの出来は貧弱なものもあり、すこし期待外れでした。けれど、幸い天候に恵まれ、気持ちの良い一日を楽しめました。

今回は1月29日(金)、北区大沢町上大沢にある「ファーマシア久保」にて、イチゴ狩りの予定です。こちらも車椅子対応の観光農園。昨年お邪魔した時大変美味しくて感動しました。皆さんからのリクエストもあり、また一緒に甘いイチゴを堪能しに行くことが楽しみです。 兵庫支部 竹内絹代

活動

<北支部>

令和2年は2月末から12月末までのコロナとつきあい、北支部は行事としてクリスマスプレゼントを送らせていただきました。支部長交代の時期ですが、北支部会員さんも高齢の為未だに決まっていません。

早く決まればいいな！（心の中では願っています）どうぞ自主的にお電話をいただきたく思っています。

<須磨支部>

色々行事が中止になる中、7月に須磨区障害者支援センターの見学、12月に成年後見制度の講習会をしました。

<長田支部>

成年後見制度の仕組みや、利用手続きなどについて皆さんにも知っていただきたく、資料をコピーし送付しました。

<西支部>

自粛生活が続いていますが、支部で施設見学や食事会、ぶどう狩りなどに行く日が来るのを楽しみにしています。

<垂水支部>

◆新しい年に思うこと 新型コロナウイルスの感染が拡大し始めてから1年が経過しました。世界中の人々が過去に経験をしたことのない状況に追いやられました。日本でも昨年末には、感染拡大に歯止めがかからない状況になったことは誰もが知るところです。

昨年秋に定例の健康診断を受け、その結果票のコメントに「運動不足、食べ過ぎ、ストレスに注意しましょう」とありました。

コロナ禍により、行事やイベントが中止になり出かけることが少なくなりました。家の中で巣ごもりをする時間が増えたことにより、運動不足になっていることはよくわかります。食事のあとの動きも悪くなり、体重もわずか増えています。「歩くこと」により運動不足の解消につとめていますが、追いつきません。

今まで当たり前に行っていた行動がすべて変わり、「新しい生活様式」が提唱されましたが、これに慣れないので困ります。今後は、もうコロナの前の状況には戻らないでしょう。

それならば、「コロナに負ないぞ!!」と自分に言い聞かせて、コロナと共に生きる方法を考えて、また健康管理にも留意して楽しい年にしたいと思っています。

垂水支部 中新井兵吾

東灘区障害者支援センターが開設されました

障害のある方がお住まいの地域で安心して暮らし続けることができるよう、支援の拠点として神戸市が各区に1カ所の障害者支援センターの設置を進めています。平成30年12月の西区障害者支援センターの開設を皮切りに神戸市内の各区に順次整備されてきました。当「東灘区障害者支援センター」で8番目となり、年度内に長田区に開設されると市内全区にそろそろことになります。

「障害者支援センター」は相談支援を行う「障害者地域生活支援センター」の機能に加えて、地域とのネットワークづくりや見守り支援、災害時の要援護者支援のしくみづくりを行います。

当センターは「ひがしなだ障害者地域生活支援センター」としての相談支援のほかに、もとやま園を利用した「緊急ショートステイ」、日中活動の場として魚崎中町デイサービスセンターでの「共生型デイサービス」を実施していく予定です。どうぞよろしく願いいたします。

東灘区障害者支援センター センター長
横川 一美

福永昭三先生を偲んで



福永先生と最初にお会いしたのは、神戸市立丸山学園の園長をされていた時でした。昭和47年長女が就学時を迎え、重度の障害児であった為小学校に通うのは無理だと判断し、ある方の紹介で丸山学園の福永先生をおたずねしました。障害者についてのお話やそのお母さん方の明るく前を向いての子育てに取り組んでおられるお話をさせていただきました。

母として長く悩んできたことがウソのように消え、いつの間にか「よしがんばろう」という気持ちになっていたことを思い出します。

昭和52年元の「神戸市立心身障害福祉センター」が設立され第一回目のセンター長として就任されました。私達神戸市重度心身障害児(者)父母の会の活動の拠点として「中部いこいの家」が3階に設置されました。先生とはよく顔を合わせ、障害者の話、私達の愚痴も優しい顔で「そうかそうか」……よく聴いていただきました。

先生は日本酒が大好きで当時の「中部いこいの家」の責任者の白旗カツエさんと3人で「チョット寄り道しようか」の先生の一声で……話に花を咲かせたことも思い出します。

先生のご長女様より訃報のはがきを会長あてに頂戴致しました。

そのハガキをテーブルに立てて「先生一合だけにしましょネ」

二つの猪口(ちょこ)にそそぎました。

「先生永い間有難うございました 乾杯！！」

どうぞごゆっくりお休みください。

神戸市重度心身障害児(者)父母の会理事一同

(執筆 池田 希美枝)



じゅうしん神戸・じゅうしん須磨寺 ~写真で見る2020年~



↑ 4月:お花見(須磨寺)

謹賀新年



↑ 2月:節分



681枚のコスモス

区民のみなさんにいただいたコスモス(折り紙)で作った作品を新館に飾りました(10~12月)。



↑ 2月:チョコフォンデュ

4月:
米ぬかクッキー ↓



↑ 6月:宮本さん退職



← 10月:松茸ご飯 ↓



↑ 9月:長田の寅さん来訪



↑ 他事業所のお菓子販売(お大師さん)



↑ 11月:須磨の火祭り(須磨寺)

米ぬかカイロ

ボランティアのみなさんに感謝の品としてプレゼントした米ぬかカイロ。肩用を「冬のギフトセット」に出品しました。レンジでチンして繰り返し使えるカイロです。
※米ぬかは昼食用の玄米を精米した際のものです。



← 米ぬか・玄米・塩(2:2:1)をホットプレートで炒って、袋に詰めます。 ↓



← 12月:クリスマス会 ↓



◇「じゅうしん神戸」「じゅうしん須磨寺」を支えてください◇

◎会員として支える(正会員5,000円・賛助会員2,000円) ◎ボランティアとして支えるなど
郵便振替口座:00990-7-254520 加入者名:特定非営利活動法人じゅうしん神戸

◇◇◇「神戸市立総合福祉センター駐車場の利用について」◇◇◇

・じゅうしん父母の会の会員が「いこいの家」を利用するため、福祉センター駐車場に駐車した後、車いすを押して駐車場から出る際は、必ず後方のスロープを利用してください。車の出入りする車路を通行するのは危険です。

遠回りになりますが、安全のためにスロープをご利用願います。

・又、単独で会員が駐車場から「いこいの家」に来られる場合は、車両用ゲートバーをくぐることはせずに車両出入口横の通路を利用してください。

(※以前ゲートバーに接触したことで非常警報が発報し、警備会社発動の事故がありました)

◇◇◇会員の動き◇◇◇



訃 報



謹んで哀悼の意を表します

【お願い】

※書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。

※父母の会事務所(いこいの家)の開所時間は、9:30~16:00です。

お電話によるご連絡又はご来所については、

できる限り『10:00~16:00』の間にお願ひします。

編集後記

本格的な寒さの到来と共にコロナ感染者も増加してきて再び窮屈な生活を強いられるようになってきました。

じゅうしんきっず&ゆーすが一生懸命準備してきた第1回福祉機器用具展も残念ながら中止となりました。

しかし今回沢山の縁に恵まれ次回はぜひ開催してほしい！協力させてほしい！と本当に有難いお声を頂戴しています。

来年度はもっと新規の会員が増えるよう魅力的なイベントも開催し今年度の不完全燃焼の分もぶつけていきたいと思っています。

じゅうしん父母の会がさらなる飛躍の年となるようコロナに負けず乗り切りましょう！

H.A

